



ぶんよう

2018年(平成30年度)5月号
 下関市立文洋中学校
 下関市上新地町5-6-1
 電話 223-8176
 FAX 223-8177

5月の文洋

○5月2日の参観日、PTA総会では天候の悪い中、たくさんの方の保護者の皆様にご来校頂きお礼申し上げます。2018年の文洋中学校教育がスタートして1ヶ月が過ぎました。新入生は学校に慣れたでしょうか。生徒は楽しい学校生活を送っているでしょうか、授業や部活動は楽しく分かる学びの時間となっているでしょうか。5月は検証の月と考えています。

○朝の読書時間から学活にかけて、1年生の成長にビックリする場面に出会うことが出来ます。本校では立腰に取り組んでいます。わずか1ヶ月で姿勢良く話を聞く1年生には驚きを越え、思わず「ありがとう」と言ってしまう。また、最近では1年生から3年生まで、廊下で出会う際に「おはようございます」「こんにちは」と気持ち良くなるあいさつをしてくれます。「ルールは守る、マナーは身につける」本校が大事にする生徒指導です。これらは全て生徒のキャリアとなって社会に通じる力、社会で愛される人になっていくんだらうな〜と嬉しくなることが多いこの頃です。

○ちょうど参観日の日に車のタイヤがパンクしてしまいました。授業中校舎から私にパンクしているとサインを送ってくれる生徒、わざわざ校長室に心配して言いに来てくれる生徒、生徒に心配かけてはいけないし授業中の集中の邪魔をしてはいけないと放課後雨の中タイヤを交換していたところ、私の頭上はなぜか雨が落ちてきません。フッと上を見ると女子生徒が傘を差してくれていました。これが文洋中の生徒の優しさです。こんな行動が自然に出来る生徒がいる学校が誇らしく感じる瞬間でした。



立腰(朝学活)1年

確かな学びプロジェクト 文洋型学びの仕組み

～空き教室を利用した教科センター方式の充実とアクティブ・ラーニングの視点での授業改善～

○文洋中学校では生徒が授業をはじめとするいろいろな教育活動に文洋らしい特色ある取組を展開しています。アクティブ・ラーニングの視点とは「何を学ぶ」から「どのように学ぶ」に注目します。

○文洋中学校の教科センター方式の授業では「言語活動」に着目し、授業を改善します。「わかる喜び」や生徒自ら、主体的に学習をすすめる「意欲的な学び」を大切に考えます。それには、日頃からお互いを認め合う学級経営や、教科教室での掲示物を工夫する教室環境づくり、授業形態の工夫が求められます。さらに今年は、生徒が少しでも授業に楽しく参加し授業内容を理解出来るようにユニット型研修にも取り組みます。授業では学びあう姿も見られ、生徒の「楽しい・わかった」の声が出るように、みんなで授業づくりをすすめていきます。しかし、何より教科センター方式では生徒が授業を受けるために教室を移動することで、授業前から主体的に学ぼうとする姿が自然に生まれます。

○1年生では教科センター方式に文洋型少人数指導を加えて実施しています。1年1組は数学と英語など1組をさらにAグループとBグループに分けて授業を行います。結果Aグループは1時間目英語、Bグループは数学といった時間割が生まれ、場合によってAグループの中でも分割することも考えられます。

○学年×10+10分の家庭学習をすすめています。1年生ですと小学校から考えると7年生。よって7×10+10分の80分(1時間20分)をめざします。学校では一人ひとりの家庭学習時間を日々記録と残していますが、家庭で費やす学習時間は3年、1年、2年の順となっているようです。この取組は小中連携教育として9年間、推進します。

文洋中学校では上記の他にあらゆる教育活動で縦割り集団活動を取り入れるなど、文洋らしい「学びが大好きになる、学びの仕組み」を地域協育ネットを活用し学校・保護者・地域・小中高と連携して今年も取り組んでいきます。



文洋型少人数指導

学校を支える学校運営協議会・文洋校区青少年健全育成協議会が開催されました

★5月16日(水)に文洋中学校学校運営協議会、5月17日(木)に文洋校区青少年健全育成協議会が開催されました。文洋中コミュニティ・スクールとして行う活動は学校運営協議会で協議され主に3つのプロジェクト(確かな学び・健やかな育ち・豊かな心)で企画運営されます。また、文洋中学校では生徒が安心して安全な学校生活を送るために、昭和56年6月16日に文洋校区青少年健全育成協議会が設立されました。子どもたちを守るための組織が約40年前には校区の自治会長さんや青少年補導員さんをはじめ地域の有志の方々に組織化されていたことには驚きと感謝の言葉しかありません。今年2月には協議会により東洋大学の土江先生をお招きして講演会も開催することが出来ました。その後土江先生は日本陸連の男子短距離の現場トップであるオリンピック(五輪)強化コーチに就任することが先日発表されたばかりです。桐生選手や本県出身の宮本選手が東京オリンピックで活躍されることを楽しみにしています。

両協議会にご参加頂きました皆様、貴重なご意見をありがとうございました。

4月から早速取り組んでいる各プロジェクトにつきましては随時、学校・学年・クラス通信やホームページでご紹介したいと思います。

豊かな心プロジェクト「黙掃(無言掃除)」「おはピカ Day」(校区あいさつ&ゴミ拾い運動)



「黙掃(無言掃除)」 ○集中して自分役割を果たす(責任感) ○相手の気持ちを察し、くみ取ることができる(思いやりの心) ○人に迷惑をかけない・我慢が出来る(意思の力) を育むために黙想(無言掃除)に縦割り集団(1年生から3年生で1つ)で取り組みます

毎月11日はおはピカ Day 「おはピカ Day」は文洋校区の小中高生(関西小・桜山小・文洋中・下短付高)が、毎月11日(下関市安心安全の日)に気持ちの良いあいさつをしながら、地域のゴミを拾いながら登校する活動です。

★今年度の設定日(予定) 6月11日(月)・7月11日(水)・12月11日(火)・1月11日(金) ★時間 午前7時40分から7時55分



確かな学びプロジェクト「スタディ・デイ」 学習ボランティア募集

★地域・保護者の皆様に学習支援ボランティアの募集要項を後日、発送いたします。また、昨年度まで登録されていた方には学校より継続のお願いをいたします。よろしくお願いいたします。

今年の第1回目は5月30日(水)です。*時間は16時20分から17時10分



健やかな育ちプロジェクト 県体出場

★4月に行われた下関市中学校春季体育大会で男子ソフトテニス部(団体・個人)・女子ソフトテニス部女子(個人)・女子バレーボール部・サッカー部・柔道男女(個人)が山口県中学校春季体育大会への出場を決めました。この他、今回残念ながら県体出場権をのがした各部は次も大会や目標に向けて活動をしています。県体は5月19日・20日の土日に宇部市など各会場で開催されます。

★文洋中学校の部活動を生きる楽しむ力を身につける場・楽しみ方を学ぶとして取り組んでいきたいと思えます。楽しむには、先生・家族・地域の皆さんに感謝しなければうまく活動することができません。ルールを守り、マナーを身につける態度は感謝の気持ちから学んでくれることを期待しています。



